

# はじめよう! 道徳科



1

特別の教科になることで、何が変わるの?

2

授業づくりは、どのように行えばいいの?

3

「考え、議論する道徳」ってどんな授業なんだろう?

4

道徳科における評価は、どのようになるの?



## なぜ、教科化されたの?

道徳が教科化された背景には、全国で発生した深刻ないじめ問題などが関係しています。本来、道徳は、いじめの防止に向けた重要な役割を担うものですが、読み物の登場人物の気持ちの読み取りで終わったり、表面的な発言や記述に留まったりするなどの課題が指摘されていました。

いじめ問題が深刻な状況にある今こそ、道徳教育の重要性を改めて認識し、その一層の充実を図るため、平成27年3月に学習指導要領が一部改正され、教科化へと至ったのです。

現実のいじめの問題に対応できていなかったのね。

## これから、どのようなことが求められるの?

道徳科の授業では、いじめ問題をはじめとする現実の様々な問題に対応できる資質・能力を育むことが一層求められます。そのためには、例えば、「いじめは許されない」などを教師が一方向的に説明するのではなく、「なぜ、いじめをしてはいけないのか?」などについて、児童生徒が自分自身の問題として向き合い、考え、議論するような授業を積極的に行っていくことが大切です。



## 特別の教科化で

# ①「変わること」「変わらないこと」

## 変わること

### ○採択された教科書の使用

・主たる教材として、年間指導計画に位置付けて活用します。

### ○道徳科における評価

(詳しくは、④「道徳科における評価とは」を参照)

## 変わらないこと

引き続き努めてほしい  
ことでもあるんだね。

### ○道徳教育の基本的な考え方

- ・週1時間実施する道徳科の授業を<sup>かなめ</sup>要として、学校の教育活動全体で道徳教育を行います。
- ・内面的な資質である\*1道徳性を養うことを目標とします。

道徳教育の評価は道徳科  
の評価とは違うのね。

### ○道徳教育における評価

- ・学校生活における具体的な行為に現れたよさは、これまでどおり指導要録の「行動の記録」「総合的な所見」に記載します。

### ○「要」としての授業の実施

- ・原則として学級担任が行います。学校・学年内で協力することが大切です。
- ・年間35時間(週1時間)を、確実に実施します。
- ・各学年に位置付けられた\*2内容項目を全て実施します。

### ○家庭や地域社会との連携

### ○児童生徒が本音で語り合う道徳授業の実践

### ○郷土の特色を生かした地域教材等の活用

「ぐんまの道徳」  
などね。

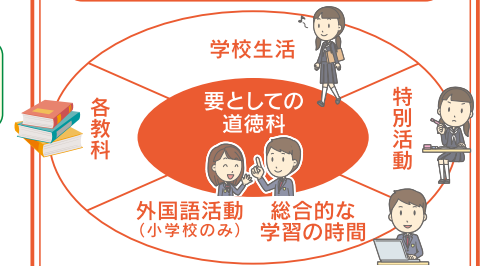
教科の捉え方(小学校)

各教科	特別の教科である道徳	外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動			
国語	特別の教科 道徳(道徳科)	外国語活動	総合的な学習の時間	学級活動			
社会				児童会活動			
算数				クラブ活動			
理科				学校行事			
生活							
音楽							
図画工作							
家庭				外国語			
体育							
外国語							

道徳科は位置付けが特別  
なんだね。

## 道徳教育と道徳科の関係

学校の教育活動全体で行う道徳教育



家庭や地域における道徳教育  
学校生活や各教科等では、「体験」をとおして、道徳科では、「考え、議論すること」をとおして、道徳性を育みます。

各  
学  
校  
で  
特  
に  
重  
要  
と  
し  
て  
決  
め  
た  
重  
要  
な  
内  
容  
項  
目  
を  
扱  
う  
の  
よ。

例  
え  
ば  
中  
学  
校  
は  
、  
年  
間  
35  
時  
間  
で  
22  
の  
内  
容  
項  
目  
を  
扱  
う  
か  
ら  
、  
残  
り  
の  
13  
時  
間  
は  
ど  
う  
す  
る  
の  
か  
な  
?

\*1 道徳性… { 道徳的判断力… 善悪を判断する能力  
道徳的心情… 道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情  
道徳的実践意欲・態度… 道徳的判断力や道徳的心情によって道徳的行為を実現しようとする傾向性

\*2 内容項目… 人間としてよりよく生きる上で学ぶことが必要なことを短い文章で表したもの  
(例:相手のことを思いやり、進んで親切にすること)

# ② 授業づくりの流れ

例えば、「A 善悪の判断、自律、自由と責任」において

## 価値観

本時で扱う内容項目について授業者が特に大切にしたいことを学習指導要領等を基に明らかにします。



## 価値観

自ら正しいと信じる場所に従って、よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする意欲を高めたい。

生活科、体育科等、様々な場面で、善悪の判断に関わる指導を行う

## 児童生徒観

授業者の価値観に関連する児童生徒のこれまでの実態と、実態から求められることなどを明らかにします。

## 児童生徒観

### 児童生徒の実態

**よさ** 善悪の判断と、よいと思うことを進んで行うことの大切さは理解できている。

**課題** 周りの友達に左右され、よいと思うことを進んで行えないところがある。

### 実態から求められること

人に左右されずに、よいと思うことを進んで行おうとする意欲を高めたい。

価値観、児童生徒観を受け、**考えさせたいこと**を明らかにします。



## 考えさせたいこと

よいと思うことを進んで行うことのよさや難しさ

## 教材観

考えさせたいことに基づき、1時間の授業で教材をどのように活用するのかを構想します。

## 教材観

教材「ほく、よびにいつてくる」

よいと思うことを進んで行うことのよさを自分との関わりで考えさせるために、ほんすけの行動の理由について考えさせたい。

よいと思うことを進んで行うことのよさを感じたときの気持ちを想像させたい

## 中心発問

ほんすけは、どんなことを考えて、「ほく、よびにいつてくる。」と言って走り出したのでしょうか。



## 【あらすじ】

主人公のほんすけたちがサッカーをしているところへほんたがやってくるが、数が半端になってしまうため、ほんきちにかくれるよう指示される。ほんたは気付かず去ってしまうが、ほんすけはほんたのことが気になる。ほんすけはほんきちにいらまれながらも、思い切って「ほく、よびにいつてくる。」と言って走り出す。

## 指導方法の工夫

発問構成 役割演技 振り返りシート 等



価値観からスタートすることが大切なんだよ。

つい教材観からスタートしちゃうんだけど、それじゃダメなの？



# ③「考え、議論する道徳」とは

考える

- ・問題意識をもつ
- ・自分との関わりで考える
- ・自己を振り返る

議論する

(協働する、対話する)

- ・多面的・多角的に考える
- ・学級経営の充実を図る

「考え、議論する道徳」への転換を図るために、導入、展開、終末の各段階において、以下のようなことに留意して指導の工夫を図りましょう。

子どもたちが安心して異なる意見を言い合える授業にするには、互いを認め合えるような学級づくりをすることが大切です。

指導過程	「考え、議論する道徳」のチェックポイント
導入	<input type="checkbox"/> 児童生徒が、本時で扱う※1道徳的価値について問題意識をもって授業に臨んでいるか。 <b>ア</b>
展開	<input type="checkbox"/> ※2道徳的価値の理解を、自分との関わりで深めているか。 <b>イ</b> <input type="checkbox"/> 物事を一面的な見方から、多面的・多角的な見方へと発展させているか。 <b>ウ</b>
終末	<input type="checkbox"/> 深まった道徳的価値の理解を基に、これまでの自己を振り返り、気付いた自分自身のよさや課題から、よりよい自己の生き方への思いや願いを深めているか。

主体的に考えられるように、問題意識をもたせることが大切だね。

友達と協働したり対話したりすることとおして、物事を自分ごととして考えたり、様々な視点で考えたりする過程だね。

よりよい自己の生き方につなげていくための工夫をする過程だね。

次ページから、上のア～エのキーワードを踏まえた工夫例を紹介します。

「自分」と「自己」ってどうちがうのですか？



自己を見つめる

「自己を見つめる」というのは、自分自身を第三者的な立場から見つめ、考えるということなのね。

※1 道徳的価値…よりよく生きるために必要とされるもの

※2 道徳的価値の理解

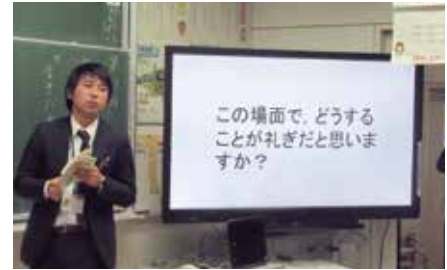
- 価値理解…道徳的価値のよさ、素晴らしさ(友達と仲良くすると本当に楽しいな。)
- 人間理解…道徳的価値の実現の難しさ(お年寄りに席を譲りたいけど勇気がいるな。)
- 他者理解…道徳的価値についての感じ方、考え方の多様さ(あいさつするときにも、様々な思いがあるんだな。)

## ア. 問題意識をもつための工夫例

### 主人公の行為や考えと、自分の考えとのずれを生じさせる

(群馬大学教育学部附属小学校 「フィンガーボール」 B:礼儀)

- ①問題場面で、自分だったら、どうすることが礼儀であると考えかを問いかけます。
- ②その後、主人公が礼儀であると考えて行った行為を伝えます。
- ③自分の考えとのずれから、児童は「主人公の行為は礼儀と言えるのだろうか?」という問題意識をもって、主体的に道徳的価値を追求していけるようになります。



主人公と自分とのずれを生じさせる発問

## イ. 自分との関わりで考えるための工夫例

### 問題場面で、自分が主人公だったらどうするかを問う

(邑楽町立中野小学校 「ぐみの木と小鳥」 B:親切、思いやり)

- ①嵐の中、主人公の小鳥が困っているりすのところに行くかどうか迷う場面で、小鳥がどうするのかを示す前に、「もしも自分が小鳥だったら行きますか、行きませんか。」と問いかけます。
- ②児童は、「今日は無理だから、明日ぐみの実を届けに行きたい。」「自分が飛ばされてけがをするかも知れないから行かない。」など、自分が小鳥になったつもりで考えることができます。



自分ならどうするかを対比的に示した板書

### 保護者を交え、より家族を意識した話し合い活動を取り入れる

(桐生市立中央中学校 「三五×十四回分のありがとう」 C:家族愛、家庭生活の充実)

- ①生徒と同年齢の主人公とその母親が登場する教材に、家族のよさや大切さについて考える活動を設定します。
- ②登場人物の思いをグループで意見交流する際に保護者も加え、母親の立場からの考えを伝えてもらいます。
- ③生徒は、母親の思いを受けた子の立場に立ち、家族のよさや親の支えへの感謝などを考えることができます。



家族のよさや大切さについて話し合う様子

## ウ. 多面的・多角的に考えるための工夫例

### 中心発問でより深く考え、葛藤させるために問う

(邑楽町立邑楽中学校 「タッチアウト」 D:よりよく生きる喜び)

- ①悪いと分かっても打ち明けられずに隠してしまう主人公の弱さについて、「もし自分ならどうしたか。」を中心発問の前の発問として問います。
- ②意見交流を 少人数→全体 へと広げ、「やっぱり隠してしまう。」「正直に打ち明ける。」などについて、理由も交えての交流をさせていきます。
- ③そして、中心発問「主人公はどうすべきだったか。」を提示することで、生徒に葛藤が生まれ、多様な感じ方、考え方の交流へとつながります。

中心発問

中心発問に向かう発問

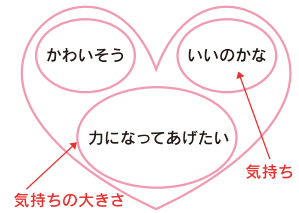


少人数での交流に教師が関わる様子

## 気持ちの大きさの割合を可視化できるワークシートを活用する

(富岡市立南中学校 「あるレストランでの出来事」 B:思いやり、感謝)

- ①ハートマークの中に、主人公が抱えている気持ちを丸囲みで示すよう促します。
- ②気持ちを見えるようにすることで、生徒は自分と友達の考えの共通点や相違点に気づきやすくなります。
- ③丸囲みの大小の根拠を伝え合うことで、多様な感じ方、考え方を交流できるようになります。

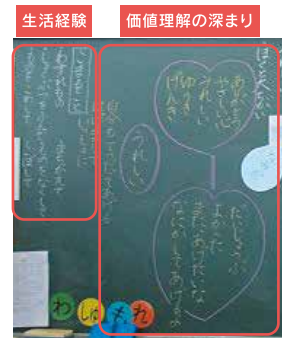


## エ. 自己を振り返るための工夫例

### 生活経験と教材を通して深まった価値理解とを結び付けて考えさせる

(藤岡市立藤岡第二小学校 「くりのみ」 B:親切、思いやり)

- ①導入時に、うまくできずに困った経験を見童に想起させ、そのときの気持ちを黒板の左端に板書します。
- ②展開後段で、登場人物が気付いた「親切にすると自分も相手も嬉しい。」という道徳的価値の深まりについて、隣に板書し、比べてみるよう促します。
- ③見童は、「自分が困ったときの気持ち」と結び付けて考えることにより、困っている人に温かい心で接し、親切にすることの大切さについての考えを深められるようになります。



### 今後への思いや願いをもてるようにするために問う

(伊勢崎市立名和小学校 「水飲み場」 C:規則の尊重)

- ①教材をとおして、見童がきまりを守ることの大切さや素晴らしさへの理解を深めた後、終末で、「これまでに、皆さんが使う場所できまりを守れなかったことはありますか。」と問いかけます。
- ②見童は、「急いでいて、廊下を走ってしまったことがあった。これからは走らずに右側を歩くようにしようと思った。」のように、自己の課題を自覚した上で、これからの思いや願いについて考えることができます。



見童への問いかけの様子

## 道徳教育に関する参考資料

- 群馬県教育委員会 各課発行・提供資料(道徳教育に関する資料)

[http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/index.php?page\\_id=85](http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/index.php?page_id=85)

道徳 群馬

検索

- 文部科学省 道徳教育

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/doutoku/](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/)

- 「道徳教育アーカイブ」～道徳科の全面実施に向けて～

<https://doutoku.mext.go.jp/>

「道徳教育アーカイブ」では、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考になる授業映像も見ることができます。



# ④ 道徳科における評価とは

① 数値による評価ではなく、記述式です。

② 他の子どもとの比較による評価ではなく、子どもがいかに成長したかを積極的に受け止め、励ましていく個人内の評価です。

③ 一人一人の子どもの学習の様子や学習の成果の優れたところや成長が見られるところを評価します。

**見える**

授業での姿

授業における発言、記述など

**見えない**

心の内面

授業を通して養われる道徳性

**評価方法**

- 観察 聞き取り
- 会話
- 作文 レポート等
- ワークシート

道徳性は心の内面のもので目に見えないわけだから、安易に評価するわけにはいかないものね。

親切にすることの大切さについて、生活経験をもとに発言している。

授業での「様々な見方や考え方ができたか」「自分ごととして考えられたか」などの目に見える姿を評価するんだね。

本当の親切とは、相手の立場に立って、相手の気持ちや思いを考えてすることであるから、今後はもっと相手の立場に立った親切をしていきたいという態度が育っている。

④ 学期や年間ごとに、個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえた評価を行います。

※指導要録には、評価欄を設定し記載します。

第1回 (礼儀)	第2回 (友情、信頼)	第3回 (生命の尊さ)	第4回 (正直、誠実)	第5回 (規則の尊重)	第6回 (感謝)
-------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-------------

毎回の授業ごとの学習の様子を並べて、継続的に成長の様子を見ていきます

「学期や年間での成長」ということは、特に成長が見られた授業のことを記述してはいけないの？

学期や年間での成長の様子を認めつつも、特によさが見られた授業があれば、そのことを認める記述を入れることがあってもいいんだよ。

⑤ 調査書(内申書)については、中学・高校入試において、情報を提供したり、合否判定に活用したりするようなことはしません。

# 内容項目の学年段階・学校段階の一覧表

★は新たに加わった内容項目

	小学校キーワード	小学校第1学年及び第2学年(19)	小学校第3学年及び第4学年(20)	小学校第5学年及び第6学年(22)
A 主として自分自身に関	善意の判断、自律、自由と責任	(1)よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。	(1)正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。	(1)自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。
	正直、誠実	(2)うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。	(2)過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。	(2)誠実に、明るい心で生活すること。
	節度、節制	(3)健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活すること。	(3)自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする。	(3)安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。
	個性の伸長	(4)自分の特徴に気付くこと。★	(4)自分の特徴に気付き、長所を伸ばすこと。	(4)自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。
	希望と勇気、努力と強い意志	(5)自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。	(5)自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。	(5)より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。
	真理の探究			(6)真理を大切にし、物事を探究しようとする心をもつこと。
B 主として人との関	親切、思いやり	(6)身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。	(6)相手のことを思いやり、進んで親切にすること。	(7)誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること。
	感謝	(7)家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。	(7)家族など生活を支えてくれた人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。	(8)日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。
	礼儀	(8)気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。	(8)礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。	(9)時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。
	友情、信頼	(9)友達と仲よくし、助け合うこと。	(9)友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。	(10)友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。
	相互理解、寛容		(10)自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。★	(11)自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。
C 主として集団や社会との関わり	規則の尊重	(10)約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。	(11)約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。	(12)法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たすこと。
	公正、公平、社会正義	(11)自分の好き嫌いとらわれないで接すること。★	(12)誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。	(13)誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。
	勤労、公共の精神	(12)働くことよさを知り、みんなのために働くこと。	(13)働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。	(14)働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。
	家族愛、家庭生活の充実	(13)父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。	(14)父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合っって楽しい家庭をつくること。	(15)父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。
	よりよい学校生活、集団生活の充実	(14)先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。	(15)先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合っって楽しい学級や学校をつくること。	(16)先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合っってよりよい学級や学校をつくることとともに、様々な集団の中で自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。
	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	(15)我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。	(16)我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつこと。	(17)我が国や郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。
	国際理解、国際親善	(16)他国の人々や文化に親しむこと。★	(17)他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。	(18)他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもつて国際親善に努めること。
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わり	生命の尊さ	(17)生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	(18)生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。	(19)生命が多くての生命のつながりの中にあるかけがえないものであることを理解し、生命を尊重すること。
	自然愛護	(18)身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。	(19)自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。	(20)自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。
	感動、畏敬の念	(19)美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと。	(20)美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。	(21)美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を越えたものに対する畏敬の念をもつこと。
	よりよく生きる喜び			(22)よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。★

	中学校キーワード	中学校(22)
A 主として自分自身に関	自主、自律、自由と責任	(1)自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。
	節度、節制	(2)望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。
	向上心、個性の伸長	(3)自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。
	希望と勇気、克己と強い意志	(4)より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。
	真理の探究、創造	(5)真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。
B 主として人との関わり	思いやり、感謝	(6)思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。
	礼儀	(7)礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。
	友情、信頼	(8)友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。
	相互理解、寛容	(9)自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。
	遵法精神、公德心	(10)法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。
C 主として集団や社会との関わり	公正、公平、社会正義	(11)正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。
	社会参画、公共の精神	(12)社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。
	勤労	(13)勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。
	家族愛、家庭生活の充実	(14)父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。
	よりよい学校生活、集団生活の充実	(15)教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合っってよりよい校風をつくることとともに、様々な集団の意義や集団の中で自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	(16)郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。
	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	(17)優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わり	国際理解、国際貢献	(18)世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。
	生命の尊さ	(19)生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえない生命を尊重すること。
	自然愛護	(20)自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。
	感動、畏敬の念	(21)美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を越えたものに対する畏敬の念を深めること。
	よりよく生きる喜び	(22)人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。